

## 福岡県立山門高等学校

## 同窓会だより

《第4号》  
発行：山門高校同窓会  
平成13年3月1日  
事務局：山門高校内  
TEL 62-4105



山門高校同窓会会長

板橋元昭

## 母校創立九十周年に向かつて

新しい世紀二十一世紀の幕が開きました。同窓生の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。さて過ぎ去った二十世紀日本は明治二十二年(一八八九年)二月十一日に発布された大日本帝国憲法のも

と立憲君主国として世界の先進列強国の仲間入りをするべく努力を重ねました。しかし世紀半ばに敗戦により挫折、戦後は昭和二十一年(一九四六年)十一月三日に公布された日本国憲法のもと民主主義国家として再生し、数々の政治的、経済的、国際的諸問題を超越して五十年後の今日世界の中の経済大国としてその存在が認められる様になりました。特に注目すべきは教育であり百三十年前の明治五年(一八七二年)の学制で寺子屋教育から学校教育に移行し、全国に大学、中学、小学校が設置され国民皆教育が行われるようになったことでもあります。

## 平成12年の同窓会

私立の母校福岡県立山門高等学校の歴史は、近代国家を目指して進みはじめた日本国百年の歩みの中で、明治四十五年(一九二二年)三月に瀬高町

立瀬高等小学校内に付設された瀬高実業補習学校にはじまりますが、時代の変遷の中、積み重ねた幾星霜の歳月は今日までに一万九千六百名の卒業生を送り出すところとなり、来々平成十四年(二〇〇二年)には創立九十周年を迎えることになりました。申すまでもなく同窓会の使命の一つは同窓生相互の親睦、福祉、情報交換を進めることにあります。お蔭様で昨年四月八日には福岡支部が数々振りに支部総会を再開していただき、百名程の出席がありました。関東支部は現在有志同窓生の皆さんの手で関東一円在住同窓生の名簿作製を進めていただけており、八簿作製を進めていただけており、八簿を受け取っております。四月には支部総会が開かれるそうです。関西支部は少々もたつきましたがやっと進める手はずが整ったところです。

この様な状況をふまえ、母校創立九十周年記念の年に向かつて学校側と歩調を合わせ同窓会も記念事業を進めて参ります。第一は同窓会名簿の発行ですが、これは既に準備にとりかかりました。第二は同窓会活動の拠点をしっかりしたものにすべく同窓会館の設置でありま。そして第三は学校側の創立九十周年記念事業の支援です。これ等の事業を進めるには現在毎年積み立て中の財源のみでは不十分ですので、平成十三年度総会に於てご承認をお願いし記念事業の為の募金活動を進めさせていただきたいと考えております。最後になりましたが、政界に於いて昨年十二月五日連立与党三党の中心である自由民主党幹事長に就任された衆議院議員古賀誠氏は、山門高校昭和三十四年三月卒の同窓生であることをご報告します。日本の政治の命運を握る人物が私達の仲間から誕生したことは大きな誇りでありま

す。今年も同窓生の皆様がお元気で活躍されることを祈念しご挨拶いたします。



山門高等学校校長

渡辺 治行

## 創立九十周年記念を間近に迎えて

同窓会会長の板橋元昭様を始め、同窓生の皆様、日頃から母校山門高等学校に対し、物心両面から御支援をいただいております。

本校は来々、平成十四年創立九十周年記念式典を迎える予定で学校側はもちろぬ、同窓会、PTAの協力を得ながら三位一体となり栄ある記念日を迎えようと準備にとりかかっ

ています。懸案であった図書館・同窓会館の建設等同窓会・PTAの両会長・副会長及び役員の皆様の御協力のもと、県教育長への陳情を行うことができました。

実現へ向けて今一層の努力に励みたいと思っておりますので御協力をお願い致します。学校とそこで学ぶ在校生の現状について報告致します。

先ず学校環境については、ここ数年來続いた大規模改造工事は、今年二月末の体育館改造工事で一応体裁を整えることとなります。後は懸案事項、図書館・同窓会館の建設です。生徒の毎日の学習状況ですが、世の中を震撼させている「十七歳の問題行動」もなく、地味ながら非常に真面目に高校生活を謳歌しています。部活動に於ては、石河誠君が棒高跳びでインターハイ出場や九州大会出場を致しました。その他合唱部が全国高等学校文化祭へ出場致しました。行事面では、体育大会の公開、そして国際化時代への対応として昨年度からの中国への修学旅行、北京、月壇中学校との交流に生徒は感銘深い体験を致しました。

オーストラリアへのホームステイも同様に二回目の実践を重ねることができました。将来の国際人を育てるため、この様な学校行事は貴重な経験となると確信致します。

そして、生徒達はすばらしい先輩方の薫陶を受け自信に満ちた姿で巣立つことができます。山門都唯一の県立高等学校として夢と誇りを持って今日人生へ第一歩を踏み固めます。

同窓会の一員として温かく見守ってほしいと願念しています。理数コースも今年二期生を送り出すこととなりました。決して短期的な視点でなく、末長い視点で本校活性化の牽引車となるよう御理解、御協力をお願い致します。

同窓生の皆様には、これからも変わらぬ御指導、御協力をお願い致します。



## 関東支部の総会にむけて

関東支部世話人会 昭和三十三年卒

橋本國昭

大きな器にクギが刺った蜜柑が一つ。  
「いたずらしたのは誰だク」

怒りに満ちた美術担当足立先生の顔と声。

「美味そうだから皆んなで食べました。クギを刺したのは僕です。」  
小生と塚本先生の息子建史君、悪びれた様子もなく写生用の果物に悪戯した教室での出来事。四十数年経つのに、昨日の事のように思い出されます。

良く遊び、良く遊び、将来の夢と希望を語り合った高校時代。人それぞれ思い出を秘めておられる事でしょう。

山門高等学校同窓会関東支部を結成するにあたり、自分自身の思い出の「コマ」を披露いたしました。

初めて結成、実は昭和四十年代前半に一度結成した事があります。当時は上京する卒業生も少なく、困った時など諸先輩にお世話になる機会が多くなりました。

そんな或る日、小宮研志(第四回卒)先輩から  
「山門高校の卒業生も沢山きているみたいだし、同窓会を結成ろう。」との呼びかけで、伊原幹雄・中尾宏先輩など数人で結成準備会を発足させました。

数少ない情報と古びた一冊の同窓会名簿を頼りに関東在住の卒業生の現住所確認、名簿作成にとりかかり

ました。

当時の東京は戦後二十数年といえ、急激な戦災復興の歪みもあり田舎出身の若者にとっては決して豊かな環境とは言えない時代でした。準備会を結成して、各自負担で始めた資金も開催日が近づくにつれ底をつく有様。悩んだ末、世話人の一人から妙案があります。との提案。

「労働者の祭典メーデーと同じく、青空の下総会をやりましょう。新宿御苑は如何ですか、会費は通信費程度、昼食は参加者持参、そして子供同伴で楽しく参加できる会にしましょう。」

不安なうちに開催日を迎えました。然し私たちの不安をよそに、当日は雲一つない晴天。新宿御苑正門前にプラカードを持って一時間前に集合。しばらくすると人ごみの中から老婦人が現われました。

「山門高校の卒業生ですけれど……」  
続いて見慣れた同窓生の顔。子供を連れた人々。多くの参加者を得て、楽しく語り、遊び、盛會な総会となりました。

その後、数回の総会を開催しましたが、小宮会長の転勤、中尾先輩、私までもが熊本へ転勤することとなり、三年後に帰京した時は忙しさで自然消滅の状況でした。

最近では卒業生も増え、それぞれ分野で活躍されている方、昔の若者、私たちが時代と共に輪を重ね、

心のゆとりと高校時代を振り返る余裕が持てる環境になりました。幸いにも卒業年次毎に同級会を開催される由、早速年次毎の世話人をお願いしたところ、心良く集って頂いた。数回の世話人会の会合を経て約八百三十名程度の卒業生を確認する事ができました。

高校生活で学窓を同じくし、清流矢部川、古代のロマンを秘めた女山清水山……緑豊かな郷里で育つた想いはつきません。

山門高等学校創立九十周年記念を迎えるにあたり、肩の凝らない楽しい同窓会を目指したい。末水く続く関東支部として……

### 関東支部総会のお知らせ

日時 4月22日(日) 12時～14時半  
場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
TEL 03(3261)9921  
会費 7,000円(学生 割引)  
問合せ 03(3508)7431、藤丸  
047(483)3686、橋本  
※関東在住の卒業生をご紹介下さい。



関東支部準備風景



# 平成12年度同窓会総会を終えて

前年度実行委員長 島添 静 治

2000年5月3日、さわやかな五月晴れのもと、平成12年度山門高校同窓会総会が、盛大に挙行されました。本総会のため、各地より参加していたさまざまな同窓会会員の皆様及び関係者の皆様、本当に、ありがたうございました。実行委員会を代表して、心より御礼申し上げます。

当日までの一年間、実行委員会を組織し、毎月会合を開き、諸準備に努めてまいりました。母校を卒業してから、早22年過ぎ、住所、連絡先のかめなない友人も多く、実行委員一同、苦労した面もありました。しかし、各クラスの幹事の絶大なる努力によって一人、また一人と新たに連絡先が分り、同級生名簿も、ほぼ、完璧に出来上がりました。

また、総会の成否を決める入場券の販売については、同窓会役員さんや理事さんの方々に快く協力していただき、心強く思いました。

5月3日、総会当日、朝7時前から、食事の準備に取りかかり、駐車場係・会場係・進行係・接待係・受付係など各々の持ち場で行動し始めました。同級生が、そろいのユニフォームで、練々と集まって、その数90名以上、本当にうれしく思っていました。

そして、第一部がスタートしました。第一部では、恩師と共に歌った校歌斉唱が一番印象深かったです。胸に熱くこみ上げるものがありました。

第二部のアグネス・チャン氏による記念講演会では、皆様に大変ご迷惑をおかけしました。それというのも、講師を乗せた車が、高速道路で交通渋滞に巻きこまれ、予定時刻よりも30分、40分も到着が遅れ、会場の皆様を長々と待たせましたことでも、アグネス・チャン氏の講演の内容はすばらしく、笑いあり涙あり、感動あり感銘ありの心に残る講演でありました。

第三部の懇親会では、多くの方々に参加していただきました。太鼓隊「ひびき」の演奏や福引き抽選会など、工夫をしたつもりでしたが、いかげんだったでしょうか。ただ、私たちの予想していた人数より多く参加していただいたので、食事や飲み物の量が足りず、迷惑をかけた面もありましたが、皆様の御協力により、たのしい懇親会にすることができました。会場のあちらこちらで、同窓の輪がたくさんでき、なつかしい話題などで盛り上がり、光景は心に残っております。

新しい世紀、21世紀がスタートしました。私達の母校、山門高校がますます発展していくことを祈っております。

総会を開催するに当たり、快く協力いただきました校長先生はじめ、職員の皆様ありがとうございました。本年の同窓会総会の盛会を心より願っております。

# クラブ紹介

教諭 中村 辰男

本校の部活動は、文化部十三、体育部十三の部があり活発に活動しています。

合唱部(合同)・陸上競技部は全国大会出場を果たし、弁論部は全国規模の大会で優秀な成績を収めました。美術・書道部も多くの作品が入賞するなどの活躍をしています。県大会出場を果たした部は、ソフトテニス・テニス・サッカー・バドミントン・剣道・弓道・水泳・卓球があり、その他の部も県大会出場までもう一歩のところまで行きました。特に、新チームで県大会に出場した剣道・サッカー・弓道・テニス・合唱部については、来年度の活躍が期待されます。

現在、体育部のほとんどがシーズンオフに入っています。冬季練習はきつくて単調なものが多いため、ついさばかり気味になる生徒が出てくるのがあります。そのため昨年は七つの部が合同で基礎体力づくりを行いました。部活間で競争したり協力し合ったりして成果を上げることができました。今年度は場所等の関係で野球部と陸上競技部が合同でサーキットトレーニングを行い、その後それぞれの部で基礎技術の習得に励んでいます。

バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球部は、体育館改修のため郡内の施設を利用して活動したり、校外でランニングをしたりして頑張っています。その他の部活も寒さに負けずに一生懸命活動しています。

十二月から三月の期間に基礎体力・基礎動作・技術をしっかりと身に付け、来シーズンに一気に開花することを期待しています。そして、一つでも多くの部活が全国規模の大会に出場し山門高等学校の名を全国に轟かせ、学校活性化に努めてもらうことを願うものです。



平成12年度  
第15回福岡県高等学校総合文化祭県大会  
合唱部門





## 平成十三年度同窓会総会に向けて

## テーマ 21世紀への航海

夢を追いつづけて

実行委員長 金田英稔

山門高校同窓会の諸先輩方をはじめ、会員の皆様、平成13年度同窓会総会は、昭和54年卒業の私たちが担当します。

何卒、よろしくお願いいたします。

『21世紀』……皆さんはこの言葉の響きについてどういう印象をお持ちでしょうか。

私たちが子供の頃、21世紀には、人類は宇宙へと進出し、車は空を飛び、戦争のない素晴らしい時代が来ると信じていました。しかし現実とはそれはほど遠いものであり、一向に将来の輝かしい光は私たちの目には見えてきません。でも、これから

の時代はわれわれ青年の手でつくりあげていかなくてはなりません。自分たちの将来はこうありたいという夢を持って、地域のため、国のため、そして何より、自分たちの子供や孫が安心して暮らせる世の中をつくるために努力していかななくてはならないと思います。そういう思いを込めて、この総会のテーマをかかげさせていただきます。

昨年と同窓会総会で、今年の

## 21世紀への航海

夢を追いつづけて

## 福岡県立山門高校同窓会総会

平成13年5月3日(祝)  
山門高校体育館  
参加費：2,000円

開会式 10:00~  
記念講演 11:00~  
講演者 楠田枝里子氏「美少女生存力」  
懇親会 13:00~



テレビに入社。現在はフリーでテレビ番組の司会や、ノンフィクション、エッセイ、絵本など、幅広い創作活動を続けておられ、運輸、建設、郵政省などの各委員会委員、審査委員をつとめられた経歴をお持ちの、才色兼備の女性です。輝ける21世紀の始まりの年の記念講演の講師として、有意義な講演をいただけることを確信致しております。

昭和54年に私たちが卒業して、はやく22年、同期生の顔が恋しくなってくる頃、同窓会総会担当という絶好の機会を与えていただいた諸先輩方に感謝致します。一人でも多くの参加者に来ていただけるような、すばらしい同窓会総会をつくり上げることとで、あらためて山門高校の活力と存在意義、同窓生の熱意を地域に広め、地域の活力を高め、山門高校の発展と更なる飛躍に貢献することができればと願っております。

会員の皆様の2001年5月3日の山門高校同窓会総会へのご出席を心よりお待ちしております。

## 進路状況

進路指導主事 大津二三雄

つい先日の一月二〇・二二日、一般入試の代表であるセンターテストが実施された。全国で約五十四万人が参加したが、本校生も久留米大で二一五名が受験した。二二日の自己採点会では、予想通りの得点ができ満面の笑みを浮かべている生徒、逆に得点が思うように伸びず落ち込んでいる生徒等、悲喜劇がいたるクラスで起きていた。今年の三年生は模擬試験の成績が伸び悩み、苦しみ悩んだ生徒が多かった。しかし、あきらめずに追い込み、模擬試験の結果からは予想だにできない高得点を取れた生徒も多かった。現段階ではまだ入試センターの平均点等が発表されておらず断言はできないが、本校の受験生はよく健闘をしたのではないかと思っている。二七・二八日の土・日で各業者のデータを基にした三者面談を行い、最終的な出願校を決める予定にしている。

また医療系専門学校の入試は既に始まっており、私大入試も間近に迫っている。本校からも西南大に約二〇名、福岡大に約一三〇名が出願している。受験生はセンターテストが終わっても気が抜けない。センター後の二二日から進学補講も開講しコース別入試対策を取り始めたところである。

推薦入試については、希望者数がここ数年全国的に激減しているが本校も同じである。数年前までは百名

## 推薦入学合格者数

| コース    | 人数 |
|--------|----|
| 国立大    | 1  |
| 私立4年大  | 10 |
| 短期大学   | 10 |
| 看護専門学校 | 3  |
| 合計     | 25 |

H13.1.25現在

を越える生徒を推薦していたが今年は一四三名であった。現段階で全ての合格が判明している訳ではないが別表のように合格者合計二五名である。一般就職希望者は三名であったがこの厳しい就職難の時代に三名全員が内定を頂くことが出来た。又、公務員希望者は、競争率一〇倍・三〇倍といわれる超難関を三名の者が合格することが出来た。(二月五日記)

## 第53回卒業生 同窓会クラス代表者

|    | 男子   | 女子    |
|----|------|-------|
| 1組 | 田中裕士 | 吉田絵里子 |
| 2組 | 猪口真治 | 坂田理香  |
| 3組 | 三村孝祐 | 北原美心  |
| 4組 | 川添全  | 坂井亜衣  |
| 5組 | 武田幸史 | 中村友香  |
| 6組 | 田中寿和 | 北原麻倫美 |